

WEEKLY SIGNAL

平成27年7月17日(金) 1283号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	7/20(月)	7/21(火)	7/22(水)	7/23(木)	7/24(金)
無担保O/N	0.030% ~ 0.125%				
銀行券		+ 1,000	+ 1,000	ト ン	△ 1,000
財政他		△ 48,000	+ 2,000	△ 1,000	△ 8,000
資金需給		不 47,000	余 3,000	不 1,000	不 9,000
主な要因		国庫短期証券発行・償還 (3M, 1Y) 国債発行(5年)			国債発行(20年) 交付税特会借入・償還
オペ期日		共通担保 △ 1,300			被災地支援 △ 1,100
オペスタート	休日	共通担保 + 1,000	国債買入 + 11,800 短国買入 + 25,000 CP等買入 + 4,000		
(日本)		日銀金融政策決定会合 議事要旨(6月18-19日) 月例経済報告(7月)	日銀営業毎旬報告 (7月20日現在) 全産業活動指数(5月) 日銀が保有する国債の 銘柄別残高 日銀による国庫短期証券の 銘柄別残高	貿易収支(6月)	対外対内証券売買(前週分)
(海外)	欧 EU外相理事会(ブリュッセル) ギリシャ ECBへ35億ユーロの 返済期限		米 MBA住宅ローン申請指数 (17日終了週) 米 中古住宅販売件数(6月)	米 新規失業保険申請件数 (17日終了週) 米 景気先行指標総合指数 (6月)	米 新築住宅販売件数(6月)

[インターバンク市場]

無担保タム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.080 ~ 0.120
SPOT 2M	0.117 ~ 0.125
SPOT 3M	0.118 ~ 0.135
SPOT 6M	0.130 ~ 0.150

<インターバンク>

今週の日銀当座預金残高は週を通して227兆円台で推移した。無担保コールON物は週を通して0.07%台半ばの出合いが中心となり、同加重平均金利は0.075~0.076%で推移した。13日・15日には一部市場参加者の試し取りにより0.12%台の取引が散見された。タム物はロール案件の取引が中心となった。15日に実施された日銀金融政策決定会合では金融市場調節方針の現状維持が決定された。展望レポートの中間評価では、15年度の実質国内総生産(GDP)見通しが2.0%増から1.7%増に引き下げられた。また、16年度の見通しは1.5%増、17年度は0.2%増でそれぞれ変更はなかった。

来週の材料としては、国内は日銀金融政策決定会合議事要旨(21日)、月例経済報告(21日)、海外ではECBが保有する35億ユーロのギリシャ国債償還(20日)、米新築住宅販売件数(24日)等が挙げられる。

[オープン市場]

NCD 3M	0.090 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.070 ~ 0.090
TDB 3M	△0.010 ~ 0.010
現先(on/1w)	0.060 ~ 0.100

<CP>

今週の入札発行額は約9,700億円で、期落ち額約8,100億円(金融機関・ABCP除く)を上回った。ロングタム物は横這い推移であったが、ショートタム物がやや上昇地合いとなった。16日、CP買入オペ(オファー額:4000億円)が実施された。1兆801億円の応札があり、前回オペより按分レートが0.001%上昇する結果となった。a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.08%台後半~0.110%近辺で推移した。

<TDB>

16日に国庫短期証券3M第546回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.0020%(前回債△0.0059%)、平均落札レートは△0.0081%(前回債△0.0087%)と前回債から利回りは上昇した。セカンダリーは3Mで△0.002%近辺の出合い。6Mは△0.04%近辺の地合い、1Yは△0.01%近辺の地合いであった。来週23日に3Mの入札が行われる予定である。

<レポ>

足許GCは週初SNでは0.03~0.05%での出合いから始まった。その後、週にかけて0.04%後半~0.06%台での出合いで推移したが、TNでは一部0.08%台での出合いも見られた。TDB1Y、TDB6Mと5年債の発行日が受渡日にあたる21日にはSNでは0.07%台後半~0.08%台、TNでは0.09%台の出合いと上昇した。週末には短国買入・国債買入れオペが合計3兆6,800億円オファーされたこともあり、0.06%台半ばまでレートが低下し越週した。SCは10年336・337・338回債がON物・タム物ともに週を通してネガティブレートで推移した。20年153回債はオペ要因か、10年超の買入オペがオファーされた17日にONや次回発行日までの物がネガティブレートで見られた。2年債は351・353回債、5年債は123・124回債、10年債は311・328・329・337・338回債に引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。